

県道佐伯長船線水文調査業務委託（8-2）現場説明書追加事項

本業務は、当該路線の瀬戸 IC 及び料金所切土工事や瀬戸 JCT 工事箇所の周辺において、それぞれの影響範囲内のため池、井戸、湧水等への工事による影響を把握することを目的として、工事中及び工事着手後の状況を調査するものである。

この目的を受けて、当業務の調査仕様を下記に記す。

着手にあたり現地踏査により現地状況を確認し、適切な調査方法・位置・項目、水質確認方法・項目等を検討し、変更の必要がある場合は、監督職員と協議すること。その内容によって、数量等を変更する場合がある。

1) 打合せ・協議

業務着手時、納品時に発注者と打合せを行う。打合せ時には主任技術者が出席する。

2) 水位水量調査

●自記水位計 観測・資料整理

$$6 \text{ 箇所} \times 1 \text{ 回/月} \times 8.5 \text{ ヶ月} = \underline{51 \text{ 箇所・月}}$$

水圧式自記水位計により、1 時間おきの水位を観測する。使用する水位計は、1cm 単位で計測可能な機種とする。また、当委託以降の観測時に水位標高の整合が取れるよう現地観測を行なうとともに、報告書に観測結果を整理する。

●触針式水位計 観測・資料整理

$$8 \text{ 箇所} \times 1 \text{ 回/月} \times 9 \text{ ヶ月} + 6 \text{ 箇所} \times 1 \text{ 回} = \underline{78 \text{ 回}}$$

触針式水位計(テスター式水位計)により、ひと月に 1 度の井戸水位測定を行う。

当項目も上記同様に、当委託以降の観測時に水位標高の整合が取れるよう現地観測を行なうとともに、報告書に観測結果を整理する。

●井戸水量調査 観測・資料整理

$$1 \text{ 箇所} \times 1 \text{ 回/月} \times 9 \text{ ヶ月} = \underline{9 \text{ 回}}$$

井戸に設置されているポンプを利用し、一定量の水を汲み上げるのに要する時間を測定する。測定方法は、蛇口を全開にした状態で、予め容量を把握した容器が満水になるまでの時間を測定する。ひと月に 1 度の井戸水量調査を行う。現地観測を行なうとともに、報告書に観測結果を整理する。

3) 水質調査

●採水

$$13 \text{ 箇所} \times 3 \text{ 回} + 2 \text{ 箇所} \times 3 \text{ 回} = \underline{45 \text{ 回}}$$

水質試験を行うための試料の採取を行う。3 ヶ月に 1 回程度の実施頻度とす

る。

●雑用水簡易項目 (pH 値、色度、濁度、電気伝導率)

13 箇所×3 回/年=39 検体

雑用水として利用されている水源の試料について水質試験を実施する。試験は濃度計量証明登録機関または飲料水水質検査業登録機関で実施する。

●農業用水簡易項目

(pH 値、電気伝導率)

2 箇所×3 回=6 検体

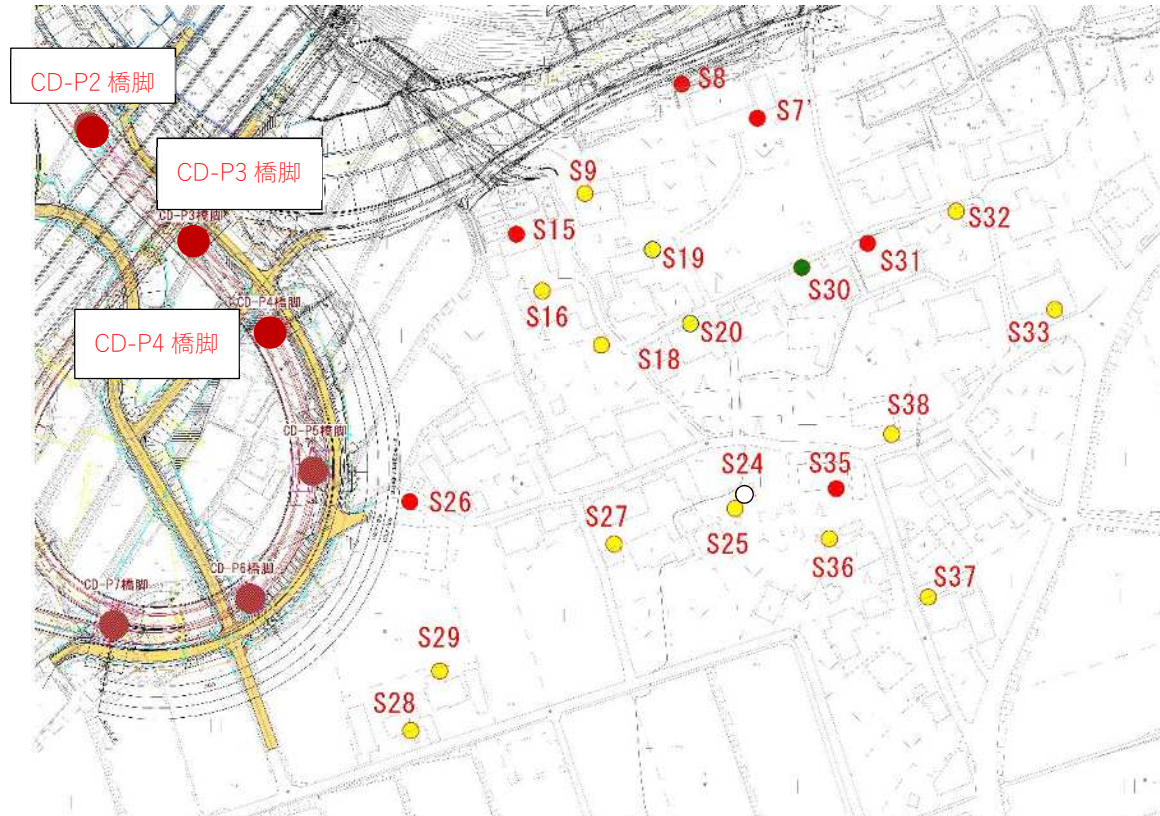
農業用水として利用されている水源の試料について水質試験を実施する。試験は濃度計量証明登録機関または飲料水水質検査業登録機関で実施する。

4) 報告書および成果品

本業務の調査・解析結果を報告書に取りまとめ、下記を提出する。

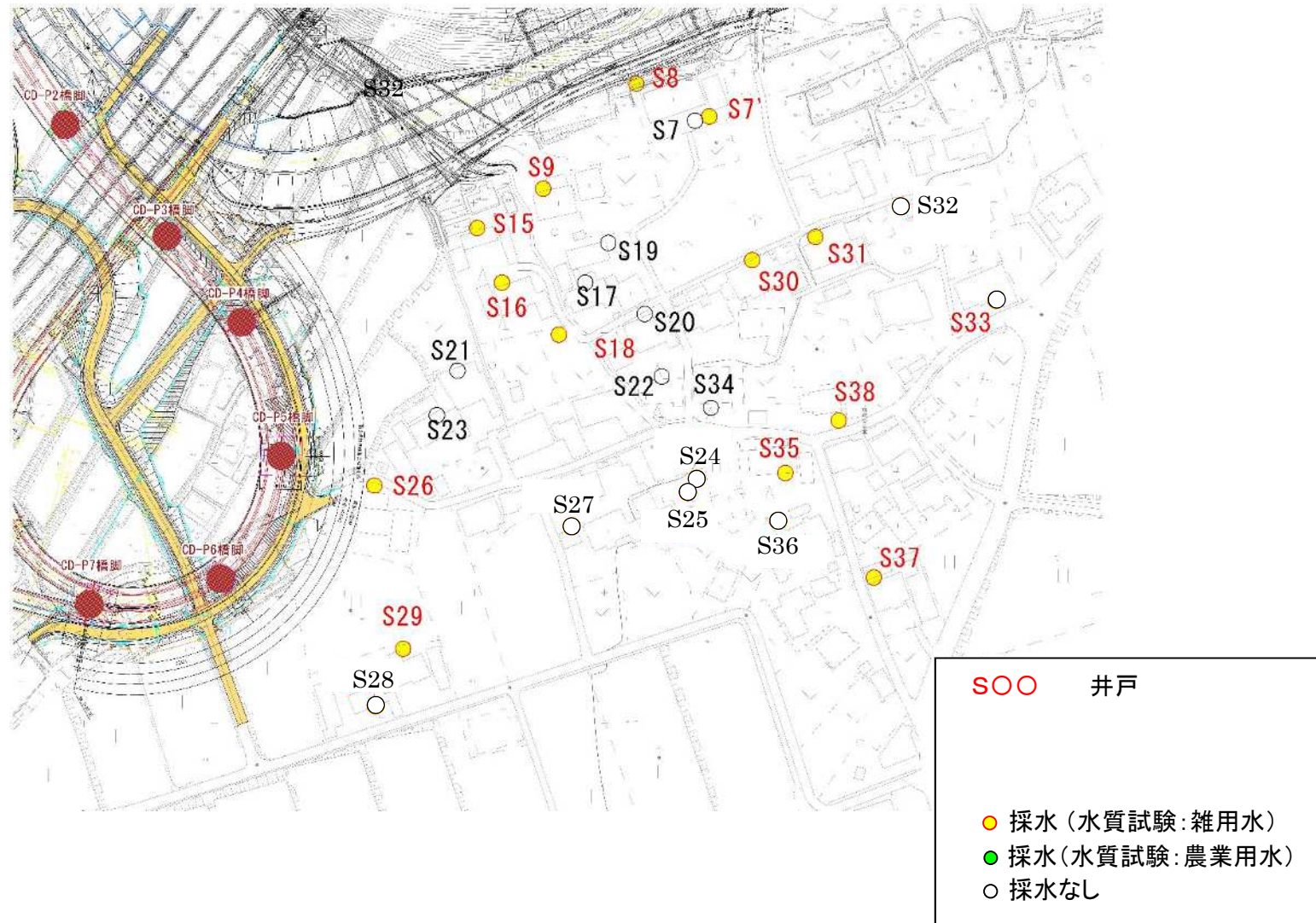
完成書類	1 式
報告書(紙成果)	1 部
電子媒体	1 部

水位調査位置図（本村地区）

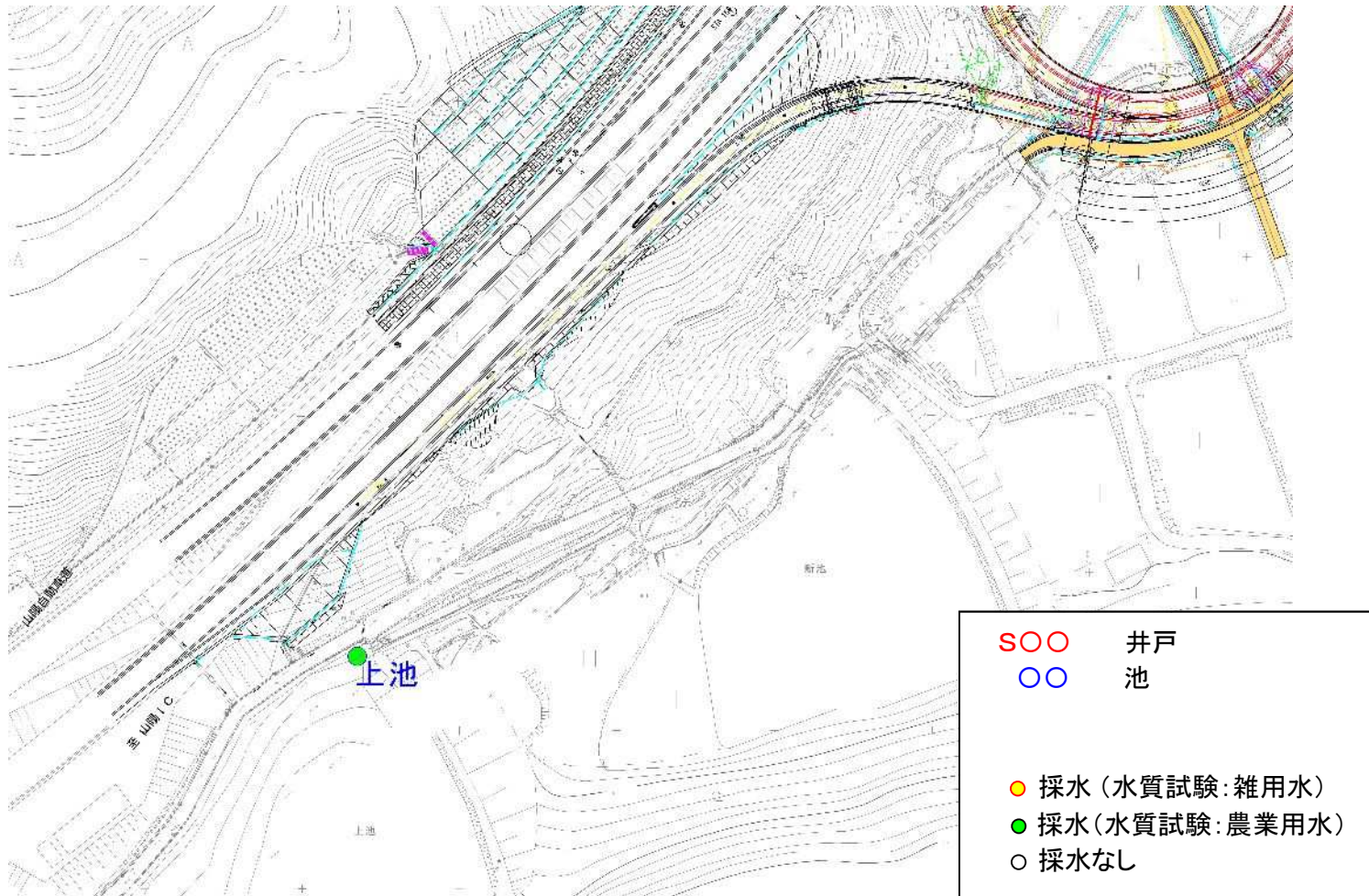


- 自記水位計観測
- 触針式水位計観測
- 井戸水量調査

採水・水質調査位置図（本村地区）



採水・水質調査位置図（上池）



採水・水質調査位置図（勘定口池）

